

疾患別

全国実力医師  
シリーズ

医療評価ガイド取材班

名医118人

全国

最新治療 &  
予防

心臓病

# 大阪府済生会泉尾病院 循環器科

## 松井 由美恵 医長



松井由美恵医長

大阪府大阪市大正区北村  
3-4-5  
TEL: 06-6552-0091  
最寄りの駅/JR大阪環状  
線大正駅もしくは大阪地下  
鉄大正駅下車、バス約15  
分

### Staff

唐川正洋院長・吉長正博部長・山本 聖副医長  
塚田 敏医員・石戸隆裕医員・豊航太郎医員

### 外来診療日

アブレーションに関する初診は月・火・木曜の午  
前（予約制。主治医を通して病診連携室<直通電  
話06-6552-0390>に連絡、金曜の外来は原則再診

### Profile

まつい・ゆみえ。1984年、関西医科大学卒業後、85年、同大学第二内科に入局。86年、国立京都病院（現国立病院機構京都医療センター）に出向。95年、医学博士号取得。96年から済生会泉尾病院の循環器科に副医長として勤務し、2005年から現職。

### 実績・成績

同科のカテーテル・アブレーションの累計症例数は1970例。2008年は262例を施行。うち心房細動は173例。発作性心房細動は1回目の治療で根治率67%、2回目の治療で88%（薬なしの根治率）。



## 治療

### チーム全体で、一人ひとりの患者を丁寧に治療

同院の循環器科は1996年に開設され、狭心症・急性心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患と、頻脈性不整脈に対するカテーテル診断と治療を2本の柱とし、循環器全般に対する高度専門医療の提供に取り組んでいる。また、「チーム医療」の重要性を考え、医師、看護師、パラメディカルが一つの目標のもとに一丸となり、患者にとって最適な「循環器チーム」を目指している。

不整脈の診断と治療を指揮する松井医長は、92年から頻脈性不整脈に対するカテーテル・アブレーション治療に取り組み、累計経験症例数は約2000例。アブレーションもチーム医療であり、精密なカテーテル操作（術者）と同時に高周波による焼灼部位を決定するためにカテーテル先端から得られた心臓内の心電図の情報解析（同医長が担当）という作業が重要になる。

従来は発作性上室性頻拍症、心房粗動を中心にアブレーションを行ってきたが、2003年からはより高度で繊細なカテーテル操作と解析能力が必要な心房細動に対するアブレーションにも積極的に取り組むようになった。08年には262例のアブレーションを施行、うち心房細動は173例で国内トップクラスの症例数だ。

心房細動に対するアブレーション治療は他のア

ブレーションと比較すると難しく、積極的に取り組んでいる施設は多くない。発作性心房細動での薬なしの根治率は1回目が67%、再発例に対する2回目を含めると88%と成績は良好である。

ただ、発作性上室性頻拍症、心房粗動などの通常の頻脈性不整脈に対するアブレーションの平均手術時間は1～2時間で入院期間が3～4日間に対して、心房細動アブレーションの場合は手技が複雑となるため、術時間が平均3.5時間（術中は静脈麻酔により長時間の治療の苦痛を軽減）、術後の経過観察期間を含めると7～8日間の入院が必要となる。心房細動アブレーション合併症は、死亡0%、焼灼部からの出血1.8%、脳梗塞0.4%、その他の合併症を含めて3%程度の頻度であるが（03年～08年累計）、症例を重ねるごとに合併症対策が充実し、ここ最近、大きな合併症はない。

チーム全体で一人ひとりの患者の治療に丁寧に取り組む同科の姿勢は、各地の循環器専門病院からも高く評価され、アブレーション治療を受ける患者の90%以上は他院からの紹介である。治療後も紹介元の施設と密に連携し、アブレーション治療を施行したすべての患者の術後経過を追跡調査している。